

TPM-5 クイックスタートガイド

Diagnostic Tool

重要

ご使用前に必ずお読み下さい。出荷時に診断ソフトはインストールされていません。登録とアップデートを行ってから診断を行ってください。

注意

- メインメニュー画面で「診断」アイコンが表示されない場合は、TPM-5に診断ソフトがインストールされていない状態です。(図1)
本書を参考にユーザー登録とアップデートを行い最新の状態での診断を行ってください。
- TPMアップデートソフト(tpm.exe)はWindows 7以降でご使用ください。
- TPMアップデートソフトがセキュリティソフトによって削除された場合は「<http://www.scantool.jp/downloads/tpm/tpm.exe>」からダウンロードして本体に保存してください。



(図1)

保証について

- 本体保証期間はユーザー登録から1年間です。期間終了後、1ヶ月以内にアップデート期間延長申込を頂いた場合に限り本体保証も1年間延長されます。

TPM-5パッケージリスト

本製品のパッケージには以下の商品が含まれています。お使いになる前にご確認ください。

TPM-5 本体	OBD-II ケーブル	シガーライターケーブル	microUSBケーブル
キャリングケース	クイックスタートガイド (本書)		

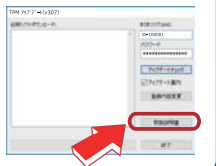
注意 パッケージリスト内の製品は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

取扱説明書のダウンロード

取扱説明書はPDFファイルでダウンロードして閲覧できます。

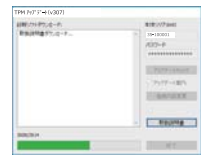
Step1

「TPM アプデット」を起動して「取扱説明書」をクリックします。



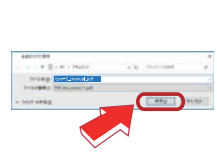
Step2

取扱説明書のダウンロードが開始されます。



Step3

ダウンロードが完了すると保存先を指定できますので、任意の場所に保存してください。



Step4

保存した場所にダウンロードしたPDFファイルが確認できます。

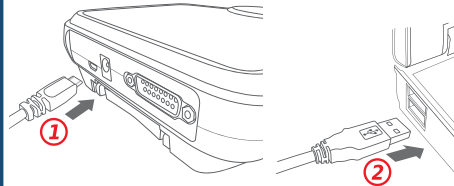


注意 取扱説明書を保存できない場合は、保存場所を変えて保存してください。正常に表示されない場合は、Adobe(R) READER(R)を最新のバージョンにしてご覧下さい。

ユーザー登録

Step1

TPM-5 本体を付属のmicroUSBケーブルでパソコンに接続します。本体画面にUSBケーブルのイラストが表示されPC接続モードになります。



Step2

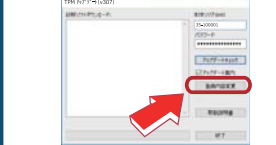
認識すると通知が表示されますのでクリックして「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックして本体内のファイルを表示させます。「tpm.exe」(アプリケーション)をダブルクリックして実行してください。



※自動再生がOFFの場合は、「スタートボタンを右クリックしてエクスプローラーでPCのCD/DVDドライブディスク内で本体内のファイルを表示させてtpm.exe」(アプリケーション)をダブルクリックして実行してください。

Step3

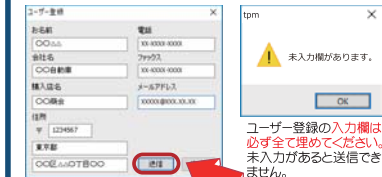
「TPMアップデート」が起動します。「登録内容変更」ボタンをクリックするとプライバシーポリシーが表示されますので内容を確認して同意するをクリックします。



※「再実行して下さい」などのエラー表示やプライバシーポリシーが表示されない場合はアップデートチェックボタンを押してください。

Step4

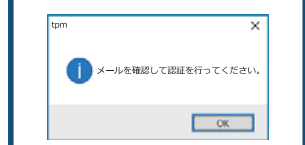
「ユーザー登録」画面が表示されますので、各入力欄にお客様の情報を入力して「送信」ボタンをクリックします。



ユーザー登録の入力欄は必ず全て埋めてください。未入力があると送信できません。

Step5

ユーザー登録情報が正常に送信されると以下のメッセージが表示されます。登録したメールアドレスの受信メールを確認してください。



Step6

受信メールを確認すると「admin@scantool.jp」より「scantool.jp 登録受付メール」が届いています。メールの本文にあるリンクをクリックしてください。

登録認証確認
下記リンクをクリックすると認証が完了します。

<http://www.scantool.jp/script/confirm.php?passkey=...>

※メールが届かない場合はメールアドレスの間違いや迷惑メールフォルダなどを確認してください。

Step7

リンクをクリックするとご使用のブラウザで認証が完了したシリアル番号とアップデート期間が表示されます。(アップデート期間は登録日より1年間です。)



※アップデート後にメインメニューの「本体ID」からアップデート期間と「本体保障期間」が確認できます。

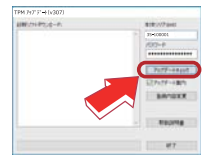
- セキュリティソフトによっては「tpm.exe」ファイルを隔離や通信をブロックする場合があります。その場合はセキュリティソフトの設定を変更していただく必要があります。
- メールアドレスは半角英数で入力してください。
- アップデート期間が表示されない場合は「登録受付メール」をもう一度確認してください。ユーザー登録で送信した回数分「登録受付メール」が配信されますので、最新の「登録受付メール」のリンクをクリックしてください。

アップデート

本体の接続、アプリケーションの起動は「ユーザー登録」の[Step1],[Step2]を参考にしてください。

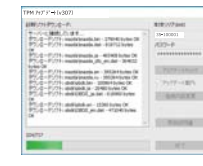
Step1

「TPM アプデット」の「アプデット実行」ボタンをクリックします。



Step2

ダウンロードして本体に書き込みます。



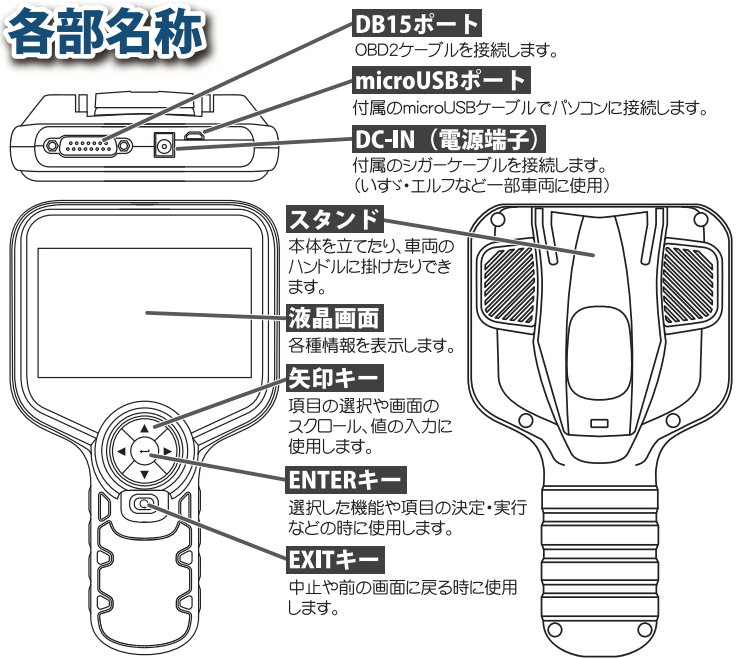
Step3

「アップデート完了」が表示されたら[OK]をクリックしてアプリケーションを終了してください。以上でアップデートが完了しました。「ハードウェアの安全な取り外し」を実行して本体をパソコンから取り外してください。



注意 アップデートを開始した際「書き込みできません」のエラーが表示された場合はセキュリティソフトによって外部記憶媒体への書き込みが禁止されていないか確認してください。また、管理者権限のあるアカウントで実行されているか確認してください。

各部名称



DB15ポート
OBD2ケーブルを接続します。

microUSBポート
付属のmicroUSBケーブルでパソコンに接続します。

DC-IN (電源端子)
付属のシガーケーブルを接続します。
(いすゞ・エルフなど一部車両に使用)

スタンド
本体を立てたり、車両のハンドルに掛けたりできます。

液晶画面
各種情報を表示します。

矢印キー
項目の選択や画面のスクロール、値の入力に使用します。

ENTERキー
選択した機能や項目の決定・実行などの時に使用します。

EXITキー
中止や前の画面に戻る時に使用します。

画面説明

メインメニュー画面



診断
各種診断を行います。

履歴
保存した故障コードやデータなどを画面に表示することができます。

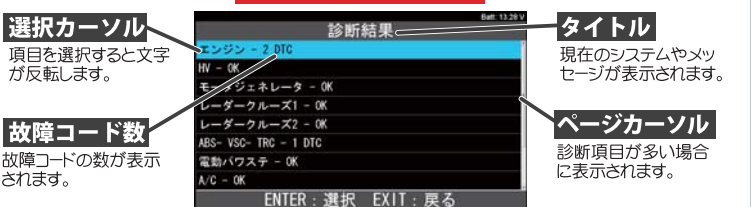
設定
言語や日時など本体設定を行います。

特殊機能
メンテナンスモード、DPF再生、エーミング、簡易バッテリー計測を行います。

OBDII
グローバルOBD2ソフトで診断を行います。

本体ID
シリアルNO.・アップデート期間を表示します。

全自己診断結果画面



選択カーソル
項目を選択すると文字が反転します。

故障コード数
故障コードの数が表示されます。

タイトル
現在のシステムやメッセージが表示されます。

ページカーソル
診断項目が多い場合に表示されます。

故障コード表示画面



故障コード
故障コードがP,B,C,Uの頭文字と4桁の数字で表示されます。

故障コード内容
故障コードに対しての内容を表示します。

ページ数
複数ページがある場合ここにページ数が表示されます。上下キーでページをためます。

データ保存・印刷
本体内に保存する際は「データ保存」、専用プリンターで印刷する際は「印刷」を選びます。

診断方法

診断を行う場合は以下の手順で操作してください。
※診断は基本的にイグニッション“ON”の状態で行ってください。

Step1

車両のイグニッションが“OFF”であることを確認します。TPM-5を診断コネクタに接続し、イグニッションを“ON”にします。

Step2

起動してメインメニューが表示されます。[診断]を選択して[ENTER]キーを押します。

Step3

メーカー選択画面が表示されます。国産、輸入車、国産トラック、OBDIIいずれかを選択すると右側にメーカー名が表示されるので診断するメーカーを選択します。

Step4

車種選択画面が表示されます。「自動検出」または「手動選択」を選択して[ENTER]キーを押します。※メーカーにより選択項目は異なります。

Step5

[車種選択]画面では診断する車種を選択して[ENTER]キーを押します。その後「ブランド」「車名」「車型」「エンジン型式」「オプション」などを選択します。※メーカーにより選択項目は異なります。

Step6

診断ソフトのメインメニューが表示されます。実施する項目を選択して[ENTER]キーを押します。

Step7

診断するシステムまたは項目を選択して[ENTER]キーを押します。※例：全自己診断

Step8

「全自己診断」は車両に搭載されている全てのシステムの故障コードを自動で検出します。

⚠️ 注意 ・診断がうまくいかない場合はケーブルの接続状態やイグニッションがONであるか確認してください。

診断結果の表示・印刷・保存・消去

車両診断を行い結果が表示された後は以下ようになります。

※故障コードの消去はイグニッション“ON”で行ってください。(エンジン稼働状態では故障コードが消去できない場合があります。)

診断結果

全自己診断の診断結果には車両に記録された故障コードの有無が表示されます。診断結果一覧で表示されたシステムを個別で選択して[Enter]キーを押すと故障コードが表示されます。

印刷

診断結果を印刷する場合は[印刷]にカーソルを合わせて[Enter]キーを押します。※印刷にはオプションのBluetoothミニプリンターが必要です。※[Enter]キーを押す前にプリンターをONにしておいてください。

データ保存

[データ保存]にカーソルを合わせて[Enter]キーを押すと保存されます。データの保存先は、本体内の「Reports」フォルダです。※フォルダ内の保存ファイルが増えると保存できなくなります。保存された毎にパソコンに移動されることを推奨します。

全自己診断の消去

自己診断の消去を行う場合は「全自己診断の消去」にカーソルを合わせて[Enter]キーを押します。自動で各システムの故障コードを消去していきます。消去が完了すると故障コードが消去されたことが確認できます。※故障コードの消去を実行しても故障が発生している場合は故障コードが消えません。再度適切な修理後に消去を行ってください。

⚠️ 注意 ・診断を終了する場合は「メーカー選択」画面まで戻り (EXIT)、イグニッションをOFFにして本体を外してください。